

骨塩定量検査

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
その他	5370 骨塩定量検査 92512-1952-991-920	第二中手骨 X線フィルム	専用袋		2~3	140 ^① 生体検査料	CXD法	下記参照	専用依頼書に性別・生年月日を明記してください。	骨粗鬆症

① 骨粗鬆症の診断及びその経過監察の際にのみ算定。ただし4月に1回を限度とする。

注: 提出フィルムについては事前に照射量・照射時間などの設定を必要としますので初回依頼までにご連絡下さい。

骨塩定量検査 第二中手骨 骨密度基準値 (CXD)

年齢	女性	
	n	m-BMD(mmAl)
20~24	236	2.692±0.274
25~29	83	2.724±0.221
30~34	228	2.764±0.226
35~39	454	2.762±0.220
40~44	1,139	2.739±0.228
45~49	1,808	2.734±0.230
50~54	2,290	2.605±0.264
55~59	2,533	2.385±0.273
60~64	2,676	2.264±0.260
65~69	1,971	2.172±0.265
70~74	980	2.074±0.281
75~79	445	1.949±0.288
80~84	373	1.780±0.283
85~89	197	1.676±0.270
90~94	80	1.575±0.245
95~	19	1.543±0.239
	15,512	

年齢	男性	
	n	m-BMD(mmAl)
20~24	40	2.720±0.443
25~29	54	2.749±0.238
30~34	72	2.826±0.191
35~39	221	2.799±0.258
40~44	262	2.757±0.248
45~49	294	2.721±0.262
50~54	302	2.698±0.274
55~59	301	2.683±0.253
60~64	341	2.670±0.287
65~69	301	2.600±0.319
70~74	300	2.590±0.312
75~79	189	2.549±0.328
80~84	171	2.443±0.343
85~89	82	2.348±0.357
90~94	27	2.224±0.420
95~	5	2.258±0.138
	2,962	

《注》m-BMDは平均±SD

m-BMD: Metacarpal-Bone Mineral Density の略

〔日本骨代謝学会 骨粗鬆症診断基準 1996年度改訂版〕

骨塩定量検査

骨塩定量検査報告書

コーディ番号: 45 45360 受付番号: 4593
 施設名: 微研 病院 股
 氏名: ビケン ハナコ 股
 年齢・性別: 84 才 女
 撮影日: 02年 8月 22日 撮影日: 02年 8月 23日

検査項目	測定値
骨塩定量 (CXD法)	
m-BMD	1.76 mmAl
YAM %	64.2 %
同年齢 %	100.6 %
MCI (骨皮質指標)	0.371
GSmix (骨皮質)	2.58 mmAl
GSmim	1.33 mmAl
d (骨髄質幅)	5.08 mm
D (骨幅)	8.08 mm
L (第二中手骨長)	61.77 mm

次回検査日は 02年 12月頃です

受付番号	①	②	③	④	⑤
4593	1256				
撮影年月日	02年4月	02年6月			
m-BMD	1.76	1.70			

コメント

① 0歳以上男性、女性とも20~44歳の若年成人平均値 (YAM) を基準値として計算
 ② 参考文獻: 野 浩伸, Osteoporosis Japan Vol.4, 645-653, 1996
 一般社団法人 京都微生物研究所
 本 部 TEL: 075-633-1441 検査責任者
 福和/受付 TEL: 0773-23-7311

骨塩定量検査 (CXD法) 結果のお知らせ

氏名: ビケン ハナコ 股
 施設名: 微研 病院 股
 撮影日: 02年 8月 22日
 検査日: 02年 8月 23日

測定値	今回の検査結果、あなたの骨量は骨粗鬆症病状に入っています。医師の指示に従ってください。
●m-BMD: 1.76 mmAl	
●YAM%: 64.2 %	
●同年齢%: 100.6 %	

あなたの骨量は、骨量値の高い時 (20~44歳) と比較して、64.2 %に相当します。また、同年代の人と比較して、100.6 %に相当します。

骨量 (m-BMD) YAM: 若年成人平均値 (20~44歳)

2/13 (YAMの80%値) 1.318 (YAMの70%値)

受付番号	①	②	③	④	⑤
4593	1256				
撮影年月日	02年4月	02年8月			
m-BMD	1.76	1.70			

次回検査日は 02年 12月頃です

骨粗鬆症の治療と予防

骨粗鬆症の進行を予防し、症状を改善するためには、食生活のバランスと適度な運動と日光浴が大切です。

食事療法

- カルシウム、良質の蛋白質、ビタミンDを多く含んだ食事をとるように心がけましょう。
- カルシウムは毎日一定量が腸中に吸収されますから、必要量をとりないと骨の中のカルシウムは徐々に減ってしまいます。
- ビタミンDはカルシウムが腸から吸収されるのを促進する働きがあり、魚肝油にも含まれています。

運動療法

- カルシウムが骨に入っていくには、骨に負荷 (力) をかけることが大切です。毎日無理のない範囲で体を動かしましょう。1日30分から1時間散歩をしてみましょう。

日光浴

- 食べ物として口からとられたビタミンDは、紫外線によって皮下脂肪やつくられたビタミンDとともに、活性型ビタミンDというホルモンになり腸管でカルシウムの吸収を助ける役割をしています。
- 朝の日光には、出来るだけ太陽の光を浴びるようにしましょう。